

## 新たな動態統計の創設に係る検討経緯

## 背景

「統計行政の新たな展開方向」(平成15年6月各府省統計主管部局長等会議申合せ)

国民経済に占める第三次産業のウェイトが高まっているにも関わらず、当該分野の統計は体系的に未整備となっており、QE推計に利用する供給側統計(月次・四半期調査)が不足

経済社会統計整備推進委員会(内閣府)における指摘

多くの府省の所管にまたがる第三次産業(サービス産業)に関する統計は、分散型の統計機構の下で個々の業種ごとにモザイク状に整備

とりわけQE(四半期別GDP速報)作成の基礎統計としては、現在は一部の業種のみに限られている月次ベースの統計がサービス産業全体の動向を概括的に把握するものに拡充されることへの期待が大

第三次産業分野全体の月次・四半期ごとの動向を明らかにする新たな動態統計の整備の必要性

- ・第三次産業全体の経済動向の明確化
- ・QE等各種経済指標の精度向上 など